

令和3年度保健所圏地域・職域連携推進事業実績報告まとめ（特徴）

<協議会・作業部会の開催状況>

開催状況		保健所数		
協議会開催	開催中止	3		
	1回開催	13		
		会議（集合）開催	1	
		会議（Zoom）開催	2	
		集合+オンライン	1	
書面開催	9			
作業部会開催	開催なし	3		
	開催中止	0		
	1～2回開催	13		
		15回	会議（集合）開催	7
			会議（Zoom）開催	2
書面開催	6			

<共同事業の実施状況（一部抜粋）>

保健所	実施状況
松戸HC	オンデマンド講座（合同庁舎内テレビで放映、市広報でQRコードを用いて周知）
野田HC	啓発用クリアファイルにQRコードを掲載し、オンラインフィットネステスト等を読み込めるように工夫した
印旛HC	労働基準協会の安全週間等に合わせて啓発用リーフレットを配布
香取HC	作業部会内でWEB講演会を実施 メンタルヘルスケアに関するモデル事業として啓発グッズ（トイレットペーパー）の配付
海匝HC	千葉県公式セミナーチャンネルでメンタルヘルスに関する講話を配信
山武HC	フレイル予防対策の啓発リーフレットを作成し、薬局等で配布
長生HC	労働基準協会の講習会案内に啓発チラシを同封
夷隅HC	協議会委員の協力を得て小規模事業所対象の健康診断受診状況等に関するアンケート実施
安房HC	インターネットで睡眠に関する実態調査の実施
君津HC	HPで管内の禁煙治療に保険が使える医療機関の情報提供
市原HC	啓発媒体を見直し、チラシの補足資料として説明動画を作成し、QRコードから読み込めるように改善

<課題について（一部抜粋）>

○協議会・作業部会の開催に関して

- ・新型コロナウイルス感染症対応のため、事業中止や書面開催となり、直接集まり協議する場を設けることができていない。
- ・新型コロナウイルス感染症感染拡大以降に参画した構成員が複数おり、対面で集合する機会が設けられていないことから、構成員同士の連携が不足している。
- ・書面よりは対面やZoom等の意見交換しやすい方法の希望があるが、Zoomに対応できない委員もあり、対面とZoom両方での開催は設備環境上難しい。
- ・書面開催では活発な意見交換ができない現状があり、効果的な開催方法について引き続き検討する必要がある。
- ・協議内容が地域保険主管課と国保年金課にまたがるため、テーマにより出席者を変更するため意見が深まっていかない。
- ・働く世代へのアプローチは、委員の所属から直接働きかける手段が少ない。

○共同事業に関して

- ・事業内容の検討にあたり、作業部会が開催できていない為、各委員の関係性が深まっていない中で効果的に情報共有ができるかが課題。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響でイベント等での周知・啓発活動ができない中で、どのように取り組みの周知・啓発を図っていくか検討の必要がある。
- ・講習会や検討会を集合形式で実施したいが、コロナ禍が影響して事業計画を立てにくい。
- ・講演会の中止が続いており、今後コロナ禍に対応した開催方法を検討していく必要がある。